

〈片倉から御殿峠 自然と歴史、里道の雰囲気を楽しむ〉

日時:2016年8月8日(月) 天候:曇り時々晴れ 14000歩 約10km

集合:JR 横浜線片倉駅 10時

コース:片倉駅→片倉城跡公園→松門寺→浅間神社→御殿峠→鎌倉道→御殿峠古道(鎌倉古道)→JR 相原駅(解散)

参加者:仲(L) 山内(SL) 班長=渡辺哲 市村 平林勝

勅使河原 常盤 神谷 平石一 熊坂 大平 高橋文 小野里 青松秀 菊池 熊島 佐藤繁 小林 清水正 長井 宮野 福士 武倉 青松美 中林 小島重/一般:片岡 吉川 計28名

片倉駅をスタートした途端に突然の雨と風です。カメラが濡れないように、慌てて折り畳み傘を出しましたが、片倉城跡公園に着いた頃には止みました。台風5号の遠い影響でしょうが、その台風に一言「聞いてないよ〜！」 まあ、空模様と女心には逆らえないと云うこと・・・お後が宜しいようで！そんな天候を気にしながらのウォークとなりましたが、一般コースの割には結構なアップダウンがあり、緑の中を歩くなかなか変化に富む道でした。お馴染みの片倉城跡公園は、夏草が茂る緑の絨毯で、木々の間を吹き抜ける風に、この時期としては一瞬暑さを忘れるような涼しさを感じられました。展望が開けた場所に出ると、遠く奥多摩や秩父の山並みも目に入り、ここが多摩丘陵の西端だということを実感できました。今日は足の弱い人には若干坂道が応えたようで、途中から一人バスで帰られましたが、KWCとしては特にキツイこともないごく普通レベルのコースだったと思います。

〈フォトレポート 小島〉



朝の片倉駅。電車が出ると閑散としています。



いつもの風景。熱心に地図を確認していますが・・・



いきなり雨の洗礼を受けました！（先の信号では風雨強し）



片倉城跡公園に入ると雨が小止みになりました。

■片倉城:永正元(1504)年九月の武蔵立河原合戦において、山内・扇谷の両上杉氏が戦った際に、扇谷上杉氏方の長井八郎が山内上杉氏に捕縛されているが、この時捕らえられた「柵田壘」を片倉城と比定する見方もある(初沢城であるという説もある)。その後の片倉城については記録がないが、おそらく滝山城・八王子城の支城として、繋ぎの城・烽火中継点として北条氏により接收されたものと思われる。(埋もれた古城より抜粋)



広場で熊坂さんのストレッチ。いつもながら“逆コース”の人が！ でもいいんです、元気ならば！



時折小雨が降るも陽ざしが出て暑くなりました。



こんな彫刻もあった！(何時もの癖で)



湯殿川沿いに出ました。



今日初の上り坂！



松門寺に立ち寄ります。



登山？（絞ってシルエット風にしてみました・・・）



ここから城跡への上りが始まります。



緑溢れる城跡内の道。風が吹き抜けます。



ここで急登坂。ゆっくりと一歩ずつ。



切崖のようで、自然地形かも・・・



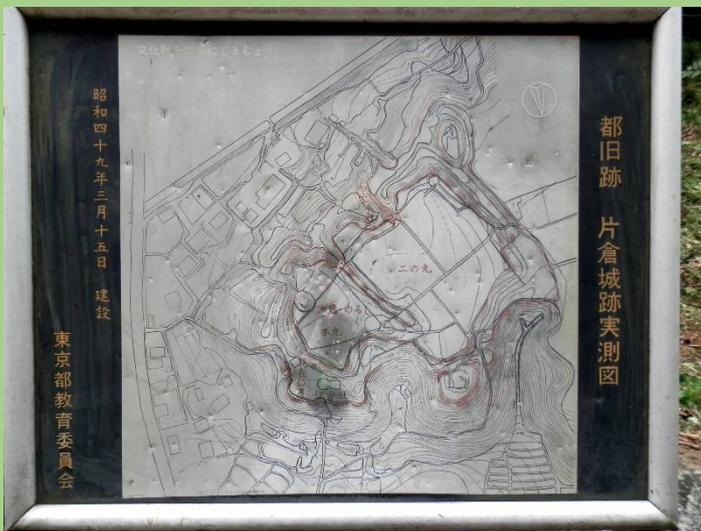
もうすでにお疲れのお二人。坂道が・・・



住吉大社を勧請した城の守り神、住吉神社。



ここも片倉城跡の一部です。



実測図を見ると天然の崖地を利用した出城のようで。



本丸から二の丸に渡る木橋。下は空堀です。



く二の丸広場での集合写真。どうも女性の参加者が少ないと華のない画になりますね！>



所々で休憩をとりながらの時間調整？



葱畑とその向こうにはヒマワリ畑が。葱は今高値です！



BBQ 広場から見た雲龍寺五重塔。(傍の若いママの情報)



こちらは東京工科大学八王子キャンパス。



二の丸から下ります。ランチ場所が気になる頃。



下りた所に延命尊が。全員素通り？ 延命ならず！



兵衛川。湯殿川と共に外堀の役目。



新興住宅街に出ました。



また上るの？



クリも実って。そう言えば立秋を過ぎましたね。



ランチ場所への最後(?)の上り坂。



この壮観な風景をご覧あれ！階段ランチの一幕です。



でも皆さん、何となく嵌っていますね！



食後の作戦タイムですか？



ここからの景色は抜群。遥かに山並みも。



陽ざしが出て影も濃くなりました。



ここは「日本閣」。女性専用のトイレタイムです。



君たちにはもう関係ない場所だろ？はい、確かに・・・ そそくさと立ち去るシニア軍団。人生やり直したい？



これから御殿峠に向かいます。

やっと緑陰の小道に入れます。

峠での小休止。ゴール近し！



空き地で熊坂さんのクールダウン。(立ち上がれない人も?)



“ジュリアナ”のお立ち台！ 羽扇はないの？



東京都指定史跡 青木家屋敷。現青木医院です。



庭が綺麗だそうですが一般公開はしていません。



町田市指定重要文化財で市の指定史跡にも。

黒板塀に囲まれた敷地はかなり広いようです。

■青木医院:ここは文久2年に建てられた屋敷。江戸時代後半から大きく屋を伸ばし、幕末から明治期にかけての歴代当主は豪農として地域社会の教育、振興、勸農などに貢献したそうです。庭には四季折々の木々が見られます。庭は造園業の方のみならず、ボランティアの方々が定期的に掃除をしているので、美しい状態が保たれています。



※台風のご利益か、風のお蔭で気温の割には涼しいウォーク日和となりました。一口に多摩丘陵と言っても、東は多摩川から北は浅川、南は円海山緑地、西は高尾山東麓まで広がる丘陵ですが、今回はその中の八王子から町田市にかけてのエリアとなります。国道16号線を挟んで、東京工大や東京造形大等もあり、緑溢れる環境の中で多くの学生たちが学んでいます。我々もタイトル通り“自然と歴史・里道の雰囲気”を学び楽しむことが出来ました！参加された皆さんお疲れ様でした。

←ゴールの JR 横浜線相原駅

ゴールの JR 横浜線相原駅